

2025年2月14日

各 位

会社名 株式会社ダイキアクシス
 代表者名 代表取締役社長CEO・CIO 大亀 裕貴
 (コード：4245 東証スタンダード市場)
 問合せ先 常務取締役CCO 本田 和博
 (TEL：089-927-1122)

連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

株式会社ダイキアクシス（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：大亀 裕貴）は、2024年2月14日に公表しました2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2024年12月期（通期）連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,500	730	800	400	30.03
実績値(B)	46,856	1,052	1,144	354	26.63
増減額(B-A)	2,356	322	344	△45	
増減率(%)	5.3	44.2	43.1	△11.5	
(参考)前期連結実績 (2023年12月期)	42,681	660	837	205	15.43

2. 差異の理由

2024年12月期の環境機器関連事業において、海外売上高は中国における日系企業撤退等の影響があり、計画を下回る結果となりました。一方、国内売上高については産業排水処理を中心とした大型工事の進捗や、ストックビジネスであるメンテナンスの受注強化により、大きく売上高を伸ばすことができました。利益面については、高利益率案件の獲得だけでなく、仕入価格や外注費の上昇に係る価格転嫁についての取り組みも進んだことから増加いたしました。

住宅機器関連事業においても、空調設備工事を行う子会社の売上高が計画と比べて増加したこと等により、当初予想よりも売上高を伸ばすことができました。利益面については、仕入価格上昇部分の販売価格への転嫁が進んだことに加え、空調設備工事の利益率が卸売事業と比較して高いことから、計画を上回る結果となりました。

なお、人的資本への投資として従業員人件費等にコストも振り向けましたが、販管費率を当初予想よりも抑えることができた結果、連結営業利益および連結経常利益は、当初予想を大きく上回ることとなりました。

以 上

■ 本件に関するお問い合わせ
 株式会社ダイキアクシス 経営企画部
 Email : ir@daiki-axis.com